横浜市立川和中学校　学校だより

# 川　和

1980 年(昭和 55 年創立)

「川和の菊」として有名であった若菊の二枚重ね
学習等に励み、立派な人になる願いを込めて

創立 30 周年記念キャラクター
kawawan

1月号　令和8年1月22日発行

## かわるもの、かわらないもの

校長　高部　振司

東風解凍（はるかぜ　こおりをとく）
暦の上では春がやって来る時期です。今年の立春は２月４日。
東から吹いてくる風に、新たな気持ちをのせ、この季節も大切に。

一月第一週には全校で防災訓練を行いました。
大規模な地震を想定し、避難経路を通り、校庭に整列して点呼。
一昨年の能登半島地震、１月１７日には３１年を迎えた阪神淡路大震災。
自分の身は自分で守ること、その後に続く避難所の運営に中学生として力を発揮することが、地域の多くの方からも期待されています。
訓練したことを大切にし、一人ひとりが誰かの役に立つために。

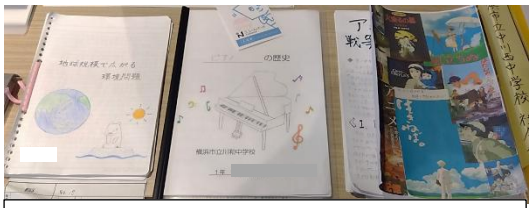
あらためまして保護者の皆様、地域の方々、本年も本校の教育活動にご理解とご協力をいただくとともに、生徒、教職員共々引続きどうぞよろしくお願いいたします。

【３学期制から２学期制へ】
来年度より、今まで以上に落ち着いた学校生活を送り、生徒一人ひとりが存分に力を発揮してもらうために２学期制へ移行します。
＜学年共通＞①これまで学年最初のテストは８教科でしたが、５教科に減少。これに伴って最初のテストにじっくり向き合えます。またテストの実施時期に変更はありません。
②学期数の減少に伴い、生徒と先生が向き合える時間の確保につながります。
＜１年生＞小学校時代に慣れ親しんだ２学期制を継承することで、新しい中学校の生活もリズムがつくりやすくなります。これにより、新しい人間関係づくりにもより取り組みやすくなります。また小学校とは形式が大きく異なるテストにもじっくり取り組めます。
＜２年生＞進路につながる２年の学校生活も大きな期間を軸とするため、しっかり取り組みやすくなります。
＜３年生＞前期の進路希望の調整には２年の評価評定を利用し、１１月末～１２月上旬に提示される評価評定が進路希望の決定となります。
＜家庭との連携＞①これまでと同様に個人面談（含進路面談）を行いますので、学校と家庭が協力してよりよい中学校生活が送れるよう努めていきます。
②またこれまで学年末に提示された連絡票の所見（学校生活のようす）を前期で生徒・保護者にお示しするため、後期に向けての生活面の切り替えや今後の目標を立てやすくなります。

学期制の変更に伴い、課題も出てくるでしょうが、よりよい中学校３年間をめざし、努力を重ねていきます。保護者の皆様はもちろんのこと、地域の皆様にもご理解とご協力をお願いいたします。




市総合文化祭
書写展
学校代表
3年



横浜市立学校総合文化祭　社会科作品展
左から３年「地球規模で広がる環境問題」、1年「ピアノの歴史」、3年「アニメに描かれる戦争と平和のメッセージ」
ニュースパーク日本新聞博物館にて